日本共産党青森県議会議員

安藤はるみの

新・アジサイだより

SIDE-A

（C）

（A）

（B）

新知事の元 党を代表して 一般質問

くわしい内容は県議団だよりで御報告します。
はるみのホームページには載せてあります。
青森県議会Ｈ．Ｐでは一般質問の中継録画が見られます。

はるみの活動日誌

6 月 21 日　建設委員会
22 日　弘前観光コンベンション協会懇親会
23 日　原発核燃ＮＯ！金曜日行動
24 日　岩木川中流･上流緊急治水対策プロジェクト着工式
25 日　平川市議選挙第一声と応援（17 時で無投票当選決まる）
26 日　下北大湊基地弾薬庫調査（写真Ａ）
28 日　特別養護老人ホームを訪問調査
7 月 2 日　青森県手をつなぐ育成大会
3 日　健生病院へ議員団でコロナ 5 類後調査（写真Ｂ）、岸田政権許さない！アピール行動
6 日　議会開会、県政懇談会
8 日　核燃だまっちゃおられん津軽の会総会と市民講座
11 日　東奥日報社 135 周年企画県議座談会（写真Ｃ）
12 日～14 日　一般質問（安藤 13 日登壇）
15 日　文京後援会総会･千葉市議議会報告会
16 日　高橋千鶴子衆議院議員演説会、国賠同盟総会
19 日　質疑（吉俣議員質問）
20 日　建設委員会
24 日　定例会閉会

※朝街宣 6 月は 7 回実施。（うち 3 回は市議と共に。そして後援会の皆さんがいつもご一緒してくれています。感謝！ 下の写真は富士見橋付近で三浦こう市議といっしょに）

心配だ 大雨コロナ ほどほどに

（はるみのワクワク川柳）

ほっとタイム

（ 新時代 ）

県議会を通して時代が変わる様を強く感じています。5期の長きにわたってニコニコ顔をアピールしながら自民党にすがって歩んで来た三村知事から、44歳という若さと新時代をアピールし、40万台の得票を得た宮下宗一郎氏が新知事に就任しました。ちょうど就任した時に三村知事前任の木村守男知事が亡くなり、次男の木村次郎衆議院議員が父を乗せた霊柩車で県庁にお別れに。宮下氏の対立候補の小野寺氏を応援していた木村氏ですから、両者ともこの初対面は複雑なお気持ちだったことでしょう。

宮下知事が就任したその日、驚いたことがありました。私のスマホに知事ご本人から電話が入ったのです。電話に出られなく追って連絡したが今度はあちらが出ない。知事秘書室に電話をしたら、全く知らなかった。要件は議会初日に人事案件を提出するので審査への協力のお願いだった。いよいよ議会が始まり、宮下氏は公約実現にどうスタートするのか注目されましたが、何のことはない。新時代とは「県民の声を聴いて県政を進めること」なのだそうだ。原発核燃に反対の県民の声はどう生かすのだろうか。新時代というのだからきっと原発核燃にも反対してくれるのではと下北の住民は期待した人も多かったと聞いているが、私が一般質問で質したが、この分野は三村県政と全く同じで、国の推進政策に全面的に協力するという立場でした。そうであるなら徹底的に論戦で対決していくしかない。子育て支援策など党の公約と重なる件では、大いに協力していきたいと思っている。新人の田端県議と2期目で論戦力抜群のよしまた県議とスクラム組んで頑張っていきます。

発行：安藤はるみ　事務所　弘前市宮川２丁目３－２　電話０１７２－３５－７０２１　自宅０１７２－３５－２２７０
9：00～14：00（土・日・祝日左記時間以外は留守電対応）
Ｅメール　ando-harumi@theia.ocn.ne.jp　ホームページアドレス　http：// ando-harumi.com/
Twitter　安藤はるみ　日本共産党　で検索　フォロワー211 人

6月の相談件数 7 件
ホームページアクセス数　730806 件

日本共産党青森県議会議員
安藤はるみの
新・アジサイだより

SIDE-B

ご近所にアジサイだよりを配布して下さる方がありましたらご一報下さい。

7月20日

建設委員会で質問

石川百田線弘前跨線橋に接続する盛土法面に点在する木杭（きぐい・写真）の設置目的を問う

鈴木英宗道路課長は「降雪期における盛土法面からの落雪を抑止し、弘前市道取上清原線や公衆用道路を走行する車両や歩行者の安全確保を目的に設置したもの」と答弁。

維持管理については「毎年降雪期間に重点的に目視点検を行い、老朽化したものは適時交換している」とのことでした。さらに、4面の盛土中木杭うちではなく頑強なコンクリート整備している所もあることも指摘したところ、現地を確認して必要であればせっちしたい」と答えました。

尾太鉱山抗廃水処理施設の復旧に対する管理者としての支援について質す

鈴木英宗道路課長は「抗廃水を処理施設に送るための補助雨水管を仮復旧し処理施設の機能を維持するとともに、今年度から本格的な復旧工事に着手すると聞いているが、当該処理施設へアクセスする道路となる一般県道西目屋二ツ井線についても、同様に被災し、現在通り抜けできない状況となっている。復旧工事に今年度から着手する。双方の工事関係車両の通行に支障が出ないよう

慮し、当該処理施設の復旧工事が円滑に進むよう支援していく」としました。

土砂災害対策について質す

6月に行った委員会調査で碇ケ関白沢の砂防堰堤1基整備の大掛かり工事現場を見てきました。線状降水帯発生などにより災害の危険が増す中、砂防関係施設の整備状況と土砂災害対策の今後の進め方について質しました。

村田尚樹河川砂防課長は「砂防関係施設の整備について、人家、公共施設、地域防災計画に位置付けられる避難場所及び避難路が存在している土砂災害危険個所から重点的に施設整備を進めており、昨年度末時点での整備率は35％となっている。」と答弁。整備率をアップして災害を未然に防ぐよう求めました。

選挙中に市民から寄せられた「側溝に蓋を」の願いを千葉市議と共に市に交渉し、バス会社により乗客の安全確保で蓋が設置されました

7月16日　高橋千鶴子衆議院議員を迎えての演説会

7月1日　孫の保育園ねぷた付き添い

7月20日
青森県議会では女性議員が 3 人から7人になり、女子力をつけようと櫛引議員と安藤が呼びかけて顔合わせ会をしました。次回の選挙ではさらに増えることを願います。